

日本公民館学会第5回研究大会プログラム

会場 川崎市教育文化会館

日時 2006年12月2日(土)～3日(日)

参加費など

①参加費 2,000円(学生は1,000円)*公開シンポジウムのみ参加される場合。参加費は無料です。

②懇親会費 3,000円

③年会費 5,000円～平成19年度会費(2006年10月1日～2007年9月31日)として

④3日(2日目)の昼食～当日、会場にて弁当販売のご案内を予定しています。

第1日目 12月2日(土)

課題研究1 「公民館60年の歴史が問いかけるもの」(13:30-16:00)

コーディネーター 上野景三(佐賀大学)

報告① 「公民館職員研究の課題」

片野親稜(元さいたま市岸町公民館長)

報告② 「公民館60年と建築」

浅野平八(日本大学)

報告③ 「公民館構想のアジア的交信」

金兪貞(東京大学特別研究員)

コーヒーブレイク&ビデオ上映(16:00-16:30)

「だれもが力いっぱい生きていくために～ふれあい館10年のあゆみ」

日本公民館学会総会(16:30-17:50)

懇親会(18:00-20:00)

第2日目 12月3日(日)

課題研究Ⅱ 「指定管理者制度と公民館の公共性」(9:30~12:00)

司会 佐藤進(中央大学(非))

報告① 「指定管理者制度の理論的問題」

上田幸夫(日本体育大学)

報告② 「NPO法人による公民館指定管理者導入」

高見啓一(米原市米原公民館指定管理者・NPO法人FIELD)

報告③ 「北陸地域における指定管理者導入の動向」

浅野秀重(金沢大学)

公開シンポジウム(14:30-17:00)

「川崎市の多文化社会の創造と市民館(公民館)活動」

コーディネーター 星野修美(元川崎市教育文化会館館長、新潟県魚沼市中央公民館運営審議会委員、魚沼市堀之内公民館運営審議会会長)

シンポジスト

朴海淑(「らいこむ多文化教室」代表、第6期外国人市民代表者会議委員)

小倉敬子((財)かわさき市民活動センター理事長、NPO法人市民文化パートナーシップかわさき事務局長、LET'S国際ボランティア交流会代表)

三浦知人(川崎市ふれあい館副館長)

ポスターセッション

1. 利用者が想起する公民館活動の場所

浅野剛史(日本大学大学院)

2. 公民館主事による公民館建築の使い方~君津中央公民館の四十年から学ぶ~

多田豊(日本大学大学院)

3. 公民館を知らない市に合併された公民館の行く末

安藤潭一(道都大学)

4. たまたま子育てまつり

松本勝代(川崎市民)

5. みやまえ子育てフェスタ

末澤朋代(川崎市民)

6. 子どもの居場所・ママの居場所

山田悦子（川崎市幸市民館）

7. 20代の若者が運営する米原公民館～掬定管理者制度を活用した究極の仕事おこし～

高見啓一（米原市米原公民館）

8. 団塊の世代を受け入れる地域づくり構想

伊東秀明（横浜市磯子区役所）